

**製品名: T2R41 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18568**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	33kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TAS2R41
別名	
遺伝子 ID	259287.0
SwissProt ID	P59536
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 150~230

**背景**

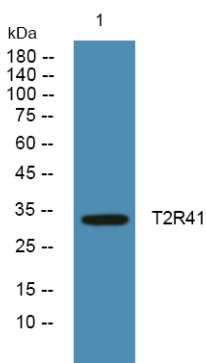
機能: 苦味の知覚に関与する可能性のある受容体で、ガストデューションと関連しています。消化管内容物の化学組成を感知する役割を果たす可能性があります。この受容体の活性は、 $\alpha$  ガストデューションを刺激し、PLC- $\beta$ -2 の活性化を媒介し、TRPM5 のゲーティング

グにつながる可能性があります。、その他：ほとんどの味覚細胞は、限られた数の苦味化合物によって活性化される可能性があります。個々の味覚細胞は、苦味刺激を区別することができます。、類似性：Gタンパク質共役受容体 T2Rファミリーに属します。、組織特異性：舌の味覚受容体細胞のサブセットで発現し、ガストデューシン陽性細胞にのみ発現します。、機能：苦味の知覚に關与する可能性のある受容体で、ガストデューシンと關連しています。消化管内容物の化学組成を感知する役割を果たす可能性があります。この受容体の活性は、 $\alpha$ ガストデューシンを刺激し、PLC- $\beta$ -2の活性化を媒介し、TRPM5のゲーティングにつながる可能性がある。、その他：ほとんどの味覚細胞は、限られた数の苦味化合物によって活性化される可能性がある。個々の味覚細胞は、苦味刺激を区別することができる。、類似性：Gタンパク質共役受容体 T2Rファミリーに属する。、組織特異性：舌の味覚受容体細胞のサブセットで発現し、ガストデューシン陽性細胞にのみ発現する。、

## 研究分野

味覚伝達;

## 画像データ



A431細胞溶解液のウェスタンブロット分析、T2R41ウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩